

# 安全かつ円滑な道路ネットワークの整備について

近畿部会提出

道路は、社会経済活動と暮らしの安全のために最も重要な社会資本であります。

また、地震や台風に加え、近年、頻度が激増している局地的集中豪雨等の自然災害における避難、救援、復興などを行う上でも最も重要なライフラインとして、道路の重要性が再認識されているところであります。

今、必要とされているのは災害に強い国土の強靱化であり、その根幹部分となる道路ネットワークの構築が喫緊の課題であることから、平常時、災害時を問わない安全かつ円滑な道路ネットワークの整備を要望するものであります。

## 記

### 1 地域高規格道路の整備について【名神名阪連絡道路】

北陸自動車道及び伊勢自動車道と一体となり、日本海から太平洋までの南北軸を形成し、東西方向の高速道路ネットワークとの連携による道路網の機能強化やリダンダンシーの確保を行うため、重要物流道路の指定に向けた取組と地域高規格道路としての早期整備を実現されたい。

### 2 一般国道の整備について

滋賀県内において高速道路を含む高規格幹線道路から市町道に至る道路ネットワークを早期かつ着実に整備していくことが極めて重要であります。

とりわけその要となる一般国道にあっては、狭隘かつ危険箇所も数多く存在し、生活道路としての利用もあることから、継続的に行われているバイパス整備、道路拡幅、歩道整備等の促進を図られたい。

また、国道8号の未整備区間においては、整備区間と一体的かつ切れ目のない整備が必要であり、計画路線の指定を国に強く働きかけられたい。

### 3 広域道路ネットワーク計画について

国が策定された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」の災害に強い国土幹線道路ネットワークに位置付けされている路線について、計画のとおり事業進捗が図られるよう取り組まれたい。